

野村アラビアン・ファンド

運用報告書(全体版)

第8期(決算日2015年10月19日)

作成対象期間(2014年10月18日～2015年10月19日)

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	単位型投信/海外/株式	
信託期間	2008年4月17日から2018年10月17日までです。	
運用方針	主として野村アラビアン マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、アラブ諸国の企業の株式(DR(預託証券)を含みます。)、新株予約権証券、投資信託証券、株式や株価指数に係るオプションを表示する証券または証書、償還金額等がアラブ諸国の株式や株価指数の価格に連動する効果を有するリンク債に投資し、加えて先物取引、スワップ取引、オプション取引などのデリバティブを利用することで、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行います。実質組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。	
主な投資対象	野村アラビアン・ファンド	マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	アラブ諸国の企業の株式、新株予約権証券、投資信託証券、株式や株価指数に係るオプションを表示する証券または証書、償還金額等がアラブ諸国の株式や株価指数の価格に連動する効果を有するリンク債を主要投資対象とし、アラブ諸国の株式や株価指数を対象とした先物取引、スワップ取引、オプション取引などのデリバティブを主要取引対象とします。
主な投資制限	野村アラビアン・ファンド	株式への実質投資割合には制限を設けません。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の配当等収益と売買益から基準価額の水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

(受付時間) 営業日の午前9時～午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決算期	基準価額				受益者 利益回り	参考 指数	株式 組入比率	株式 先物比率	元 残	本 率
	(分配) 税 分	込 配 金	期 騰 落	中 期 騰 落 額						
(設定日)	円	円	円	%	%		%	%	%	%
2008年4月17日	10,000	—	—	—	—	100.00	—	—	—	100.0
1期(2008年10月17日)	5,663	0	△4,337	△43.4	△86.0	67.35	△32.7	82.8	—	90.6
2期(2009年10月19日)	4,788	0	△875	△15.5	△34.5	53.31	△20.8	96.4	—	57.0
3期(2010年10月18日)	4,230	0	△558	△11.7	△23.0	49.21	△7.7	93.9	—	36.2
4期(2011年10月17日)	3,352	0	△878	△20.8	△19.0	39.96	△18.8	97.3	—	26.2
5期(2012年10月17日)	3,810	0	458	13.7	△13.7	42.83	7.2	99.3	—	18.6
6期(2013年10月17日)	5,662	0	1,852	48.6	△7.9	61.17	42.8	98.4	—	12.9
7期(2014年10月17日)	7,739	0	2,077	36.7	△3.5	82.47	34.8	96.9	—	10.2
8期(2015年10月19日)	7,661	0	△78	△1.0	△3.1	77.37	△6.2	97.4	—	7.9

*株式組入比率には、新株予約権証券、オプション証券等を含みます。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率-売り建て比率。

*第1期に新株予約権証券として取り扱ってございましたカバードワラントを、第2期以降はオプション証券等として分類しております。

*第3期まで公社債として取り扱ってございましたParticipatory Notes(参加証書)を、第4期以降はオプション証券等として分類しております。

*参考指数(=MSCI Arabian Markets Index(ex Saudi Arabia)(税引後配当込み・円ベース))は、MSCI Arabian Markets Index(ex Saudi Arabia)(税引後配当込み・ドルベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート(対顧客電信売買相場仲値)で円換算し、設定時を100として指数化しております。

*MSCI Arabian Markets Index(ex Saudi Arabia)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) MSCI

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		参 考 指 数		株 組 入 比 率	株 先 物 比 率
	円	騰 落 率		騰 落 率		
(期 首) 2014年10月17日	7,739	—	82.47	—	96.9	—
10月末	8,175	5.6	85.66	3.9	97.3	—
11月末	8,719	12.7	91.13	10.5	98.2	—
12月末	8,375	8.2	86.69	5.1	95.1	—
2015年1月末	7,885	1.9	82.00	△ 0.6	96.4	—
2月末	8,354	7.9	86.21	4.5	97.1	—
3月末	7,895	2.0	81.88	△ 0.7	95.8	—
4月末	8,448	9.2	85.75	4.0	97.5	—
5月末	8,513	10.0	84.75	2.8	99.6	—
6月末	8,403	8.6	84.36	2.3	98.5	—
7月末	8,542	10.4	85.41	3.6	98.7	—
8月末	7,606	△ 1.7	77.83	△ 5.6	96.9	—
9月末	7,481	△ 3.3	75.93	△ 7.9	97.8	—
(期 末) 2015年10月19日	7,661	△ 1.0	77.37	△ 6.2	97.4	—

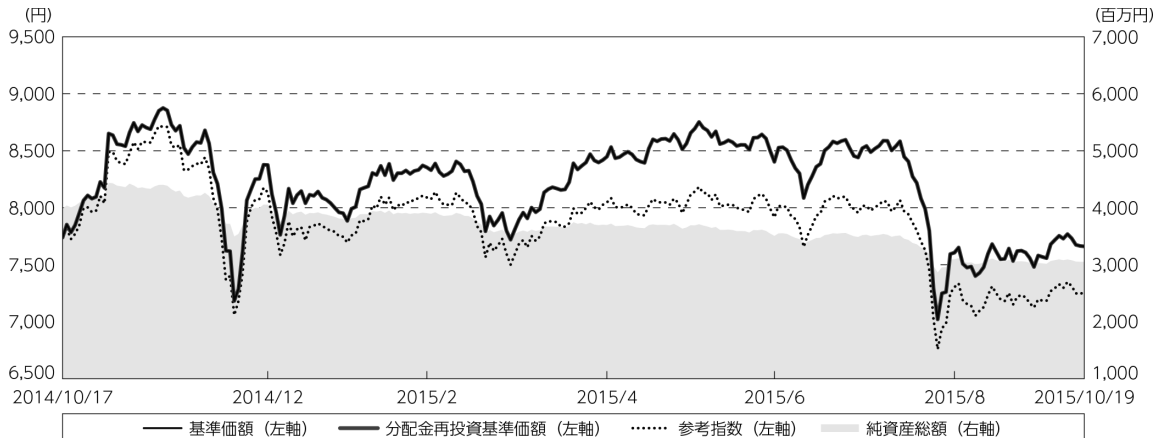
*騰落率は期首比です。

*当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期首：7,739円

期末：7,661円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率：△ 1.0%（分配金再投資ベース）

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2014年10月17日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。なお、当ファンドは単体型投信であり、実際には分配金は再投資されませんのでご注意ください。

(注) 参考指数は、MSCI Arabian Markets Index（ex Saudi Arabia）（税引後配当込み・円ベース）です。作成期首（2014年10月17日）の値が基準価額と同一となるように計算しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

(上昇) ECB（欧州中央銀行）の追加金融緩和への期待が高まったこと、日銀による追加金融緩和を受けて、円安が進行したこと

(下落) OPEC（石油輸出国機構）の総会で原油生産量目標が据え置かれたことや、OPECやIEA（国際エネルギー機関）が2015年の石油需要見通しを下方修正したことなどから原油価格が調整したこと

(上昇) FOMC（米連邦公開市場委員会）後の声明で、FRB（米連邦準備制度理事会）の慎重な利上げ姿勢が確認されたことや、原油価格に下げ止まりの兆しが見えたこと

(下落) 原油価格の下落や米国の早期利上げ観測の高まりなどが懸念されたこと、サウジアラビアなどによるイエメン空爆から地政学的リスクの高まりが懸念されたこと

(上昇) 米国の早期利上げ観測の後退や原油価格の反発などが好感されたこと

(下落) 原油安や中国人民元の切り下げを受け世界的にリスク回避の動きが強まったこと

(上昇) 米国の早期利上げ観測が後退し、投資家のリスク回避の動きが弱まったこと

○投資環境

アラブ諸国株式市場は、期首、日銀による追加金融緩和や米国の堅調な経済指標、ECBによる追加金融緩和への期待などを背景に上昇して始まった後、原油価格の下落を背景に反落しました。2014年11月末にOPECの総会で原油生産量目標が据え置かれたことや、OPECやIEAが2015年の石油需要見通しを下方修正したことなどから原油価格が調整したことを受けて、2014年12月中旬にかけて続落となりました。その後は、FOMC後の声明で、FRBの慎重な利上げ姿勢が確認されたことや、原油価格に下げ止まりの兆しが見えたことなどを好感し、反発しました。2015年3月には、原油価格の下落や米国の早期利上げ観測の高まりなどから反落し、サウジアラビアなどによるイエメン空爆から地政学的リスクの高まりが懸念されたことなどを背景に続落となりました。4月には、米国の早期利上げ観測の後退や原油価格の反発などが好感され上昇しましたが、原油価格の軟調な動きを受けて下落基調となり、8月中旬には、原油安や中国人民元の切り下げを受け世界的にリスク回避の動きが強まったことなどから一段と下落しました。その後は原油価格の上昇が好感されたことや、米国の早期利上げ観測が後退し、投資家のリスク回避の動きが弱まったことなどから上昇したものの、当期においてアラブ諸国株式は下落しました。

○当ファンドのポートフォリオ

[野村アラビアン・ファンド]

主要投資対象である [野村アラビアン マザーファンド] 受益証券を、期を通じておおむね高位に組み入れました。

・為替ヘッジ

当ファンドの基本方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

[野村アラビアン マザーファンド]

・株式（オプション証券等を含む）の組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの基本方針に従い、為替ヘッジは行ないませんでした。

・期中の主な動き

- (1) 国別配分については、期首においては、UAE（アラブ首長国連邦）、サウジアラビアなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）とし、クウェート、モロッコなどをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。期末においては、エジプト、UAEなどをオーバーウェイトとし、クウェート、モロッコなどをアンダーウェイトとしました。
- (2) 個別銘柄については、QATAR NATIONAL BANK（カタール）、EMAAR PROPERTIES PJSC（UAE）、COMMERCIAL INTERNATIONAL BANK（エジプト）などを上位に組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

参考指数（MSCI Arabian Markets Index（ex Saudi Arabia）（税引後配当込み・円ベース））の騰落率が-6.2%になったのに対し、基準価額の騰落率は-1.0%となりました。

（主なプラス要因）

- ・ 国別配分において、株価騰落率が参考指数を下回ったクウェートをアンダーウェイトとした一方、株価騰落率が参考指数を上回ったUAEをオーバーウェイトとしたこと
- ・ 個別銘柄において、株価騰落率が参考指数を上回ったUAEのヘルスケア機器・サービス株をオーバーウェイトとした一方、株価騰落率が参考指数を下回ったクウェートの銀行株をアンダーウェイトとしたこと

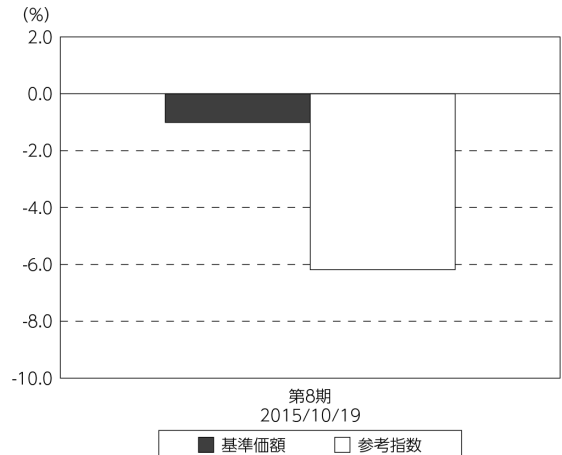
（主なマイナス要因）

- ・ 国別配分において、株価騰落率が参考指数を上回ったレバノンをアンダーウェイトとしたこと
- ・ 個別銘柄において、株価騰落率が参考指数を下回ったエジプトの電気通信サービス株をオーバーウェイトとした一方、株価騰落率が参考指数を上回ったカタールの不動産株をアンダーウェイトとしたこと

◎分配金

基準価額水準などを勘案して、大変遺憾ながら今期の収益分配は見送らせていただきました。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、MSCI Arabian Markets Index（ex Saudi Arabia）（税引後配当込み・円ベース）です。

◎今後の運用方針

[野村アラビアン マザーファンド]

1. 投資環境

アラブ諸国株式市場については、短期的には原油価格の動きや世界的な株式市場の動向に左右される展開が予想されますが、各国の財政状況は比較的健全であり、個人消費やインフラ整備の拡大などエネルギー分野以外で堅調な成長が期待できることが株式市場を下支えすると見えています。

2. 投資方針

- ①UAEについては、可処分所得の増加、人口増加、教育水準の高まりなどを背景に、ヘルスケア、金融分野などで高い成長が期待できると見えています。
- ②カタールについては、2022年のサッカーワールドカップ開催へ向けたインフラ投資が計画通り行なわれれば、実質GDP（国内総生産）成長率を押し上げると見ており、金融株や資本財・サービス株に注目しています。
- ③サウジアラビアについては、債務残高が低水準であることや外貨準備が豊富であることから、原油価格低迷の影響にも相当程度の耐性があると見えています。また、今後外国人投資家の直接投資による資金流入の拡大が株式市場を下支えすると見えています。財政政策の動向について注視しながら、引き続き内需関連銘柄に投資する考えです。
- ④エジプトについては、地政学的リスクや国内の政治情勢、主要貿易相手である欧州の景気動向、為替市場の動向などに注意が必要であると見えています。一方、スエズ運河の新水路が完成したことで、今後外貨収入の増加や周辺地域への投資拡大が期待できると見えています。インフレ率の低下傾向が続けば、中央銀行による金融緩和政策も見込まれます。
- ⑤クウェートについては、原油価格低迷による財政状況悪化の影響は相対的に受けにくいと見えますが、インフラ投資の進捗には懸念が残ります。引き続き、インフラプロジェクトの動向を注視する考えです。
- ⑥国別配分については、UAE、エジプト、サウジアラビアの投資比率を市場平均よりも高めに維持する方針です。

[野村アラビアン・ファンド]

主要投資対象である[野村アラビアン マザーファンド] 受益証券の組み入れを高位に維持し、基準価額の向上に努めます。なお、実質組入外貨建て資産については、引き続き為替ヘッジを行わない方針です。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1口当たりの費用明細

(2014年10月18日～2015年10月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 178	% 2.172	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（ 投 信 会 社 ）	(87)	(1.064)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
（ 販 売 会 社 ）	(85)	(1.032)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
（ 受 託 会 社 ）	(6)	(0.076)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料	17	0.207	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（ 株 式 ）	(15)	(0.179)	
（ オプション証券等 ）	(2)	(0.027)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	7	0.081	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（ 株 式 ）	(7)	(0.081)	
（ オプション証券等 ）	(0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	28	0.347	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（ 保 管 費 用 ）	(28)	(0.342)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（ 監 査 費 用 ）	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（ そ の 他 ）	(0)	(0.002)	信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	230	2.807	
期中の平均基準価額は、8,199円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各比率は1口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年10月18日～2015年10月19日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
野村アラビアン マザーファンド	千口 4,319	千円 4,935	千口 853,599	千円 1,046,357

*単位未満は切り捨て。

○株式売買比率

(2014年10月18日～2015年10月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期	
	野村アラビアン マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	2,348,785千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,374,883千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.69	

*(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月18日～2015年10月19日)

利害関係人との取引状況

<野村アラビアン・ファンド>

該当事項はございません。

<野村アラビアン マザーファンド>

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	百万円 1,505	百万円 662	% 44.0	百万円 2,568	百万円 828	% 32.2

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年10月19日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
野村アラビアン マザーファンド	3,491,423	2,642,143	3,044,013

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2015年10月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
野村アラビアン マザーファンド	3,044,013	98.6
コール・ローン等、その他	41,943	1.4
投資信託財産総額	3,085,956	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*野村アラビアン マザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産(3,030,059千円)の投資信託財産総額(3,043,975千円)に対する比率は99.5%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1カタールリヤル=32.82円、1米ドル=119.32円、1英ポンド=184.19円、1UAEディルハム=32.53円、1バーレーンディナール=316.25円、1エジプトポンド=15.05円、1モロッコディルハム=12.39円、1オマーンリアル=309.86円、1クウェートディナール=396.15円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月19日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,085,956,830
コール・ローン等	41,943,386
野村アラビアン マザーファンド(評価額)	3,044,013,366
未収利息	78
(B) 負債	35,853,058
未払信託報酬	35,796,912
その他未払費用	56,146
(C) 純資産総額(A-B)	3,050,103,772
元本	3,981,380,000
次期繰越損益金	△ 931,276,228
(D) 受益権総口数	398,138口
1口当たり基準価額(C/D)	7,661円

(注) 設定年月日2008年4月17日、設定元本額50,347百万円、期首元本額5,149百万円、元本残存率7.9%、計算口数当たり純資産額7,661円。

(注) 期中における解約元本額は1,168百万円です。

(注) 投資信託財産の運用の指図に係わる権限の全部又は一部を委託する為に要する費用、支払金額14,817,756円。(野村アラビアン マザーファンド)

○損益の状況 (2014年10月18日～2015年10月19日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	21,172
受取利息	21,172
(B) 有価証券売買損益	33,277,872
売買益	47,648,783
売買損	△ 14,370,911
(C) 有価証券評価差損益	74,726,820
(D) 信託報酬等	△ 80,141,294
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	27,884,570
(F) 前期繰越損益金	△1,164,163,916
(G) 解約差損益金	205,003,118
(H) 計(E+F+G)	△ 931,276,228
(I) 収益分配金	0
次期繰越損益金(H+I)	△ 931,276,228

*損益の状況の中で(D)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○分配金のお知らせ

1口当たり分配金(税込み)	0円
---------------	----

○お知らせ

- ①運用報告書(全体版)について電磁的方法により提供する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日: 2014年12月1日>
- ②書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日: 2014年12月1日>
- ③書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日: 2014年12月1日>
- ④デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日: 2015年1月14日>
- ⑤有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。
 <変更適用日: 2015年8月3日>

野村アラビアン マザーファンド

運用報告書

第8期（決算日2015年10月19日）

作成対象期間（2014年10月18日～2015年10月19日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	アラブ諸国の企業の株式（DR（預託証券）を含みます。）、新株予約権証券、投資信託証券（アラブ諸国の株式を投資対象とする投資信託証券等）、株式や株価指数に係るオプションを表示する証券または証書、償還金額等がアラブ諸国の株式や株価指数の価格に連動する効果を有するリンク債を主要投資対象とし、加えて先物取引、スワップ取引、オプション取引などのデリバティブを主要取引対象とすることで、信託財産の成長をはかることを目的として積極的な運用を行います。組入外貨建て資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
主な投資対象	アラブ諸国の企業の株式、新株予約権証券、投資信託証券、株式や株価指数に係るオプションを表示する証券または証書、償還金額等がアラブ諸国の株式や株価指数の価格に連動する効果を有するリンク債を主要投資対象とし、アラブ諸国の株式や株価指数を対象とした先物取引、スワップ取引、オプション取引などのデリバティブを主要取引対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合には制限を設けません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋 1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率	純資産額
	円	騰落率	参考指数	騰落率			
4期(2011年10月17日)	4,654	△19.2	43.14	△18.8	97.4	—	百万円 4,421
5期(2012年10月17日)	5,390	15.8	46.24	7.2	99.5	—	3,577
6期(2013年10月17日)	8,166	51.5	66.04	42.8	98.5	—	3,697
7期(2014年10月17日)	11,392	39.5	89.03	34.8	97.1	—	3,977
8期(2015年10月19日)	11,521	1.1	83.52	△6.2	97.6	—	3,043

*株組入比率には、新株予約権証券、オプション証券等を含みます。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

*第3期まで公社債として取り扱ってございましたParticipatory Notes（参加証書）を、第4期以降はオプション証券等として分類しております。

*参考指数（＝MSCI Arabian Markets Index (ex Saudi Arabia)(税引後配当込み・円ベース)）は、MSCI Arabian Markets Index (ex Saudi Arabia)(税引後配当込み・ドルベース)をもとに、当社が独自に円換算したものです。なお、算出にあたっては、基準価額への反映を考慮して、営業日前日の指数値を営業日当日の為替レート（対顧客電信売買相場仲値）で円換算し、設定時を100として指数化しております。

*MSCI Arabian Markets Index (ex Saudi Arabia)は、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(出所) MSCI

○当期中の基準価額と市況等の推移

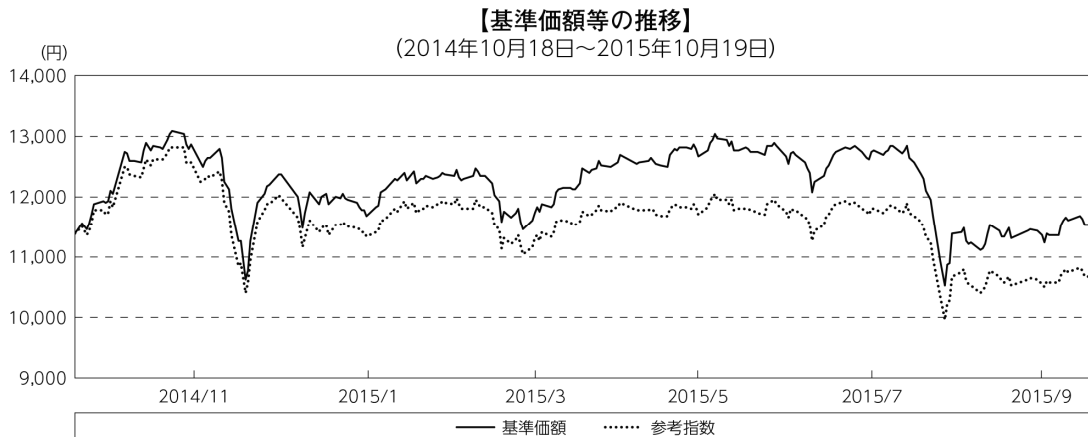
年月日	基準価額		参考指数		株組入比率	株先物比率
	円	騰落率	参考指数	騰落率		
(期首) 2014年10月17日	11,392	—	89.03	—	97.1	—
10月末	12,045	5.7	92.47	3.9	97.5	—
11月末	12,865	12.9	98.38	10.5	98.2	—
12月末	12,380	8.7	93.59	5.1	95.3	—
2015年1月末	11,676	2.5	88.52	△0.6	96.6	—
2月末	12,390	8.8	93.07	4.5	97.3	—
3月末	11,731	3.0	88.39	△0.7	96.0	—
4月末	12,572	10.4	92.57	4.0	96.9	—
5月末	12,689	11.4	91.49	2.8	99.2	—
6月末	12,548	10.1	91.06	2.3	98.1	—
7月末	12,778	12.2	92.20	3.6	98.7	—
8月末	11,410	0.2	84.02	△5.6	97.1	—
9月末	11,240	△1.3	81.97	△7.9	98.0	—
(期末) 2015年10月19日	11,521	1.1	83.52	△6.2	97.6	—

*騰落率は期首比です。

*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



(注) 参考指数は、MSCI Arabian Markets Index (ex Saudi Arabia) (税引後配当込み・円ベース) です。作成期首の値が基準価額と同一となるように計算しております。

○基準価額の主な変動要因

基準価額は、期首11,392円から期末11,521円となりました。

- (上昇) ECB (欧州中央銀行) の追加金融緩和への期待が高まったこと、日銀による追加金融緩和を受けて、円安が進行したこと
- (下落) OPEC (石油輸出国機構) の総会で原油生産量目標が据え置かれたことや、OPECやIEA (国際エネルギー機関) が2015年の石油需要見通しを下方修正したことなどから原油価格が調整したこと
- (上昇) FOMC (米連邦公開市場委員会) 後の声明で、FRB (米連邦準備制度理事会) の慎重な利上げ姿勢が確認されたことや、原油価格に下げ止まりの兆しが見えたこと
- (下落) 原油価格の下落や米国の早期利上げ観測の高まりなどが懸念されたこと、サウジアラビアなどによるイエメン空爆から地政学的リスクの高まりが懸念されたこと
- (上昇) 米国の早期利上げ観測の後退や原油価格の反発などが好感されたこと
- (下落) 原油安や中国人民元の切り下げを受け世界的にリスク回避の動きが強まったこと
- (上昇) 米国の早期利上げ観測が後退し、投資家のリスク回避の動きが弱まったこと

○当ファンドのポートフォリオ

・株式（オプション証券等を含む）の組入比率

期を通じておおむね高位を維持しました。

・為替ヘッジ

当ファンドの基本方針に従い、為替ヘッジ（為替の売り予約）は行ないませんでした。

・期中の主な動き

- (1) 国別配分については、期首においては、UAE（アラブ首長国連邦）、サウジアラビアなどをオーバーウェイト（参考指数に比べ高めの投資比率）とし、クウェート、モロッコなどをアンダーウェイト（参考指数に比べ低めの投資比率）としました。期末においては、エジプト、UAEなどをオーバーウェイトとし、クウェート、モロッコなどをアンダーウェイトとしました。
- (2) 個別銘柄については、QATAR NATIONAL BANK（カタール）、EMAAR PROPERTIES PJSC（UAE）、COMMERCIAL INTERNATIONAL BANK（エジプト）などを上位に組み入れました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

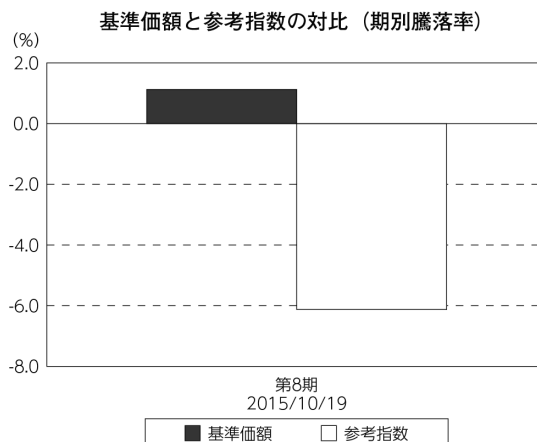
参考指数（MSCI Arabian Markets Index（ex Saudi Arabia）（税引後配当込み・円ベース））の騰落率が-6.2%になったのに対し、基準価額の騰落率は+1.1%となりました。

（主なプラス要因）

- ・ 国別配分において、株価騰落率が参考指数を下回ったクウェートをアンダーウェイトとした一方、株価騰落率が参考指数を上回ったUAEをオーバーウェイトとしたこと
- ・ 個別銘柄において、株価騰落率が参考指数を上回ったUAEのヘルスケア機器・サービス株をオーバーウェイトとした一方、株価騰落率が参考指数を下回ったクウェートの銀行株をアンダーウェイトとしたこと

（主なマイナス要因）

- ・ 国別配分において、株価騰落率が参考指数を上回ったレバノンアンダーウェイトとしたこと
- ・ 個別銘柄において、株価騰落率が参考指数を下回ったエジプトの電気通信サービス株をオーバーウェイトとした一方、株価騰落率が参考指数を上回ったカタールの不動産株をアンダーウェイトとしたこと



（注）参考指数は、MSCI Arabian Markets Index（ex Saudi Arabia）（税引後配当込み・円ベース）です。

◎今後の運用方針

1. 投資環境

アラブ諸国株式市場については、短期的には原油価格の動きや世界的な株式市場の動向に左右される展開が予想されますが、各国の財政状況は比較的健全であり、個人消費やインフラ整備の拡大などエネルギー分野以外で堅調な成長が期待できることが株式市場を下支えすると見えています。

2. 投資方針

- ①UAEについては、可処分所得の増加、人口増加、教育水準の高まりなどを背景に、ヘルスケア、金融分野などで高い成長が期待できると見えています。
- ②カタールについては、2022年のサッカーワールドカップ開催へ向けたインフラ投資が計画通り行なわれれば、実質GDP（国内総生産）成長率を押し上げると見ており、金融株や資本財・サービス株に注目しています。
- ③サウジアラビアについては、債務残高が低水準であることや外貨準備が豊富であることから、原油価格低迷の影響にも相当程度の耐性があると見えています。また、今後外国人投資家の直接投資による資金流入の拡大が株式市場を下支えすると見えています。財政政策の動向について注視しながら、引き続き内需関連銘柄に投資する考えです。
- ④エジプトについては、地政学的リスクや国内の政治情勢、主要貿易相手である欧州の景気動向、為替市場の動向などに注意が必要であると見えています。一方、スエズ運河の新水路が完成したことで、今後外貨収入の増加や周辺地域への投資拡大が期待できると見えています。インフレ率の低下傾向が続けば、中央銀行による金融緩和政策も見込まれます。
- ⑤クウェートについては、原油価格低迷による財政状況悪化の影響は相対的に受けにくいと見えています。インフラ投資の進捗には懸念が残ります。引き続き、インフラプロジェクトの動向を注視する考えです。
- ⑥国別配分については、UAE、エジプト、サウジアラビアの投資比率を市場平均よりも高めに維持する方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年10月18日～2015年10月19日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 (株 式) (オ プ シ ョ ン 証 券 等)	円 25 (22) (3)	% 0.207 (0.179) (0.027)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税 (株 式) (オ プ シ ョ ン 証 券 等)	10 (10) (0)	0.081 (0.081) (0.000)	(b) 有価証券取引税=期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (そ の 他)	42 (42) (0)	0.344 (0.342) (0.002)	(c) その他費用=期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 信託事務の処理に要するその他の諸費用
合 計	77	0.632	
期中の平均基準価額は、12,193円です。			

*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2014年10月18日～2015年10月19日)

株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
外 国	カタール	百株 1,182 (41)	千カタールリヤル 13,686 (-)	百株 1,359	千カタールリヤル 11,884
	アメリカ	747	千米ドル 607	260 (620)	千米ドル 516 (1,048)
	イギリス	241	千英ポンド 214	510	千英ポンド 369
	アラブ首長国連邦	15,050 (15,281)	千UAEディルハム 6,566 (3,844)	30,023	千UAEディルハム 12,328
	エジプト	750	千エジプトポンド 509	10,376	千エジプトポンド 15,976
	オマーン	- (276)	千オマーンリアル - (-)	850 (-)	千オマーンリアル 45 (10)
	クウェート	- (2,029)	千クウェートディナール - (31)	12,669 (567)	千クウェートディナール 895 (4)

*金額は受け渡し代金。

*単位未満は切り捨て。

* () 内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

オプション証券等

		買 付		売 付	
		証 券 数	金 額	証 券 数	金 額
外 国	アメリカ	証券 54,250 (7,904)	千米ドル 1,499 (-)	証券 78,100	千米ドル 2,184

*金額は受け渡し代金。

*金額の単位未満は切り捨て。

* () 内は権利割当、権利行使および権利行使期間満了などによる増減分で、上段の数字には含まれておりません。

新株予約権付社債（転換社債）

		買 付		売 付	
		額 面	金 額	額 面	金 額
外 国	オマーン	千オマーンリアル — (82)	千オマーンリアル — (—)	千オマーンリアル 82	千オマーンリアル 8

*金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

*単位未満は切り捨て。

* () 内は無償増資等による増減分です。

○株式売買比率

(2014年10月18日～2015年10月19日)

株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	2,348,785千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	3,374,883千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	0.69

* (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

○利害関係人との取引状況等

(2014年10月18日～2015年10月19日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
為替直物取引	1,505	662	44.0 %	2,568	828	32.2 %

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村信託銀行です。

○組入資産の明細

(2015年10月19日現在)

外国株式

銘柄	株数	株数	期 末		業 種 等	
			評 価 額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
(カタール)	百株	百株	千カタールリヤル	千円		
QATAR INSURANCE CO	—	120	1,134	37,217	保険	
QATAR NATIONAL BANK	439	564	10,621	348,583	銀行	
COMMERCIAL BANK OF QATAR	540	356	2,011	66,014	銀行	
OOREDOO QSC	460	230	1,786	58,623	各種電気通信サービス	
DOHA BANK LTD	638	—	—	—	銀行	
QATAR ELECTRICITY & WATER CO	194	155	3,286	107,846	総合公益事業	
INDUSTRIES QATAR	301	369	4,653	152,743	コングロマリット	
QATAR ISLAMIC BANK	—	100	1,180	38,727	銀行	
MASRAF AL RAYAN	—	380	1,668	54,750	銀行	
GULF INTERNATIONAL SERVICES	—	105	714	23,433	エネルギー設備・サービス	
AL MEERA CONSUMER GOODS CO	—	57	1,408	46,225	食品・生活必需品小売り	
小 計	株 数 ・ 金 額	2,574	2,438	28,463	934,166	
	銘柄 数 < 比 率 >	6	10	—	<30.7%>	
(アメリカ)			千米ドル			
DP WORLD LTD	370	275	589	70,383	運送インフラ	
DAMAC REAL ESTATE DEVELO-W/I	650	—	—	—	不動産管理・開発	
INTEGRATED DIAGNOSTICS-WI	—	447	250	29,910	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
EDITA FOOD INDUSTRIES-REG S	—	165	315	37,603	食品	
小 計	株 数 ・ 金 額	1,020	887	1,155	137,898	
	銘柄 数 < 比 率 >	2	3	—	<4.5%>	
(イギリス)			千英ポンド			
NMC HEALTH PLC	745	370	270	49,817	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
AL NOOR HOSPITALS GROUP	—	106	124	22,879	ヘルスケア・プロバイダー/ヘルスケア・サービス	
小 計	株 数 ・ 金 額	745	476	394	72,697	
	銘柄 数 < 比 率 >	1	2	—	<2.4%>	
(アラブ首長国連邦)			千UAEディルハム			
FIRST GULF BANK	2,491	2,139	2,962	96,380	銀行	
DUBAI ISLAMIC BANK	3,850	4,000	2,728	88,741	銀行	
ABU DHABI COMMERCIAL BANK	3,900	4,550	3,530	114,856	銀行	
EMAAR PROPERTIES PJSC	11,651	12,731	8,848	287,848	不動産管理・開発	
ARABTEC HOLDING CO	3,900	—	—	—	建設・土木	
AGTHIA GROUP PJSC	3,200	1,900	1,447	47,096	食品	
ALDAR PROPERTIES PJSC	11,000	15,150	3,757	122,221	不動産管理・開発	
DUBAI FINANCIAL MARKET	7,200	4,550	800	26,050	各種金融サービス	
EMIRATES NBD PJSC	1,550	1,030	928	30,188	銀行	
EMAAR MALLS GROUP PJSC	—	3,000	936	30,448	不動産管理・開発	
小 計	株 数 ・ 金 額	48,743	49,051	25,940	843,833	
	銘柄 数 < 比 率 >	9	9	—	<27.7%>	
(エジプト)			千エジプトポンド			
COMMERCIAL INTERNATIONAL BANK	4,335	2,459	13,295	200,102	銀行	
GLOBAL TELECOM HOLDING	14,900	11,600	2,262	34,043	無線通信サービス	
T M G HOLDING	9,300	7,200	4,953	74,557	不動産管理・開発	
JUHAYNA FOOD INDUSTRIES	5,826	3,476	2,889	43,481	食品	
小 計	株 数 ・ 金 額	34,363	24,737	23,400	352,184	
	銘柄 数 < 比 率 >	4	4	—	<11.6%>	

銘柄	期首(前期末)	当 期 末				業 種 等
		株 数	株 数	評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(モロッコ) DOUJA PROM ADDOHA	百株 583	百株 583	千モロッコディルハム 1,461	千円 18,102	不動産管理・開発	
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	583 1	583 1	1,461 —	18,102 <0.6%>	
(オマーン) BANK MUSCAT SAOG		5,539	4,966	千オマーンリアル 271	84,031	銀行
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	5,539 1	4,966 1	271 —	84,031 <2.8%>	
(クウェート) BURGAN BANK KUWAIT PROJECTS CO HOLDINGS MOBILE TELECOMMUNICATIONS CO NATIONAL BANK OF KUWAIT MABANEE CO SAKC		4,556 3,799 7,250 8,615 2,404	4,530 — 4,400 4,123 2,365	千クウェートディナール 181 — 169 329 208	71,784 — 67,107 130,696 82,452	銀行 各種金融サービス 無線通信サービス 銀行 不動産管理・開発
小 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	26,627 5	15,419 4	888 —	352,041 <11.6%>	
合 計	株 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	120,196 29	98,560 34	— —	2,794,956 <91.8%>	

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

* 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

* 一印は組み入れなし。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

外国オプション証券等

銘柄	期首(前期末)	当 期 末			
		証 券 数	証 券 数	評 価 額	
				外貨建金額	邦貨換算金額
(アメリカ)		証券	証券	千米ドル	千円
HSBC BANK PLC 02/23/15 FAWAZ ABDULAZIZ	24,000	—	—	—	—
HSBC BANK PLC 04/13/15 AL MOUWASAT MEDIC	21,000	—	—	—	—
HSBC BANK PLC 01/07/16 AL TAYYAR	14,000	19,066	365	43,554	
HSBC BANK PLC 07/18/16 AL KHALEEJ TRAINI	35,167	28,905	360	43,069	
HSBC BANK PLC 3/20/17 FAWAZ ABDULAZ	—	20,250	412	49,160	
HSBC BANK PLC 3/5/18 MOUWASAT MEDICAL CO	—	10,000	329	39,320	
合 計	証 券 数 ・ 金 額 銘柄 数 < 比 率 >	94,167 4	78,221 4	1,467 —	175,103 <5.8%>

* 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

* < >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

* 金額の単位未満は切り捨て。

* 一印は組み入れなし。

* 銘柄コード等の変更があった銘柄は、別銘柄として掲載しております。

○投資信託財産の構成

(2015年10月19日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 2,794,956	% 91.8
オプション証券等	175,103	5.8
コール・ローン等、その他	73,916	2.4
投資信託財産総額	3,043,975	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

*当期末における外貨建て純資産(3,030,059千円)の投資信託財産総額(3,043,975千円)に対する比率は99.5%です。

*外貨建て資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1カタールリヤル=32.82円、1米ドル=119.32円、1英ポンド=184.19円、1UAEディルハム=32.53円、1バーレーンディナール=316.25円、1エジプトポンド=15.05円、1モロッコディルハム=12.39円、1オマーンリアル=309.86円、1クウェートディナール=396.15円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年10月19日現在)

項 目	当 期 末
(A) 資産	3,073,714,714 円
コール・ローン等	59,005,086
株式(評価額)	2,794,956,001
オプション証券等(評価額)	175,103,875
未収入金	44,649,726
未収利息	26
(B) 負債	29,744,478
未払金	29,744,478
(C) 純資産総額(A-B)	3,043,970,236
元本	2,642,143,361
次期繰越損益金	401,826,875
(D) 受益権総口数	2,642,143,361口
1万口当たり基準価額(C/D)	11,521円

(注) 期首元本額3,491百万円、期中追加設定元本額4百万円、期中一部解約元本額853百万円、計算口数当たり純資産額11,521円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・野村アラビアン・ファンド 2,642百万円

○損益の状況 (2014年10月18日～2015年10月19日)

項 目	当 期
(A) 配当等収益	156,626,877 円
受取配当金	155,935,704
受取利息	4,192
その他収益金	686,981
(B) 有価証券売買損益	△ 36,056,181
売買益	595,015,044
売買損	△631,071,225
(C) 保管費用等	△ 12,657,708
(D) 当期損益金(A+B+C)	107,912,988
(E) 前期繰越損益金	486,054,751
(F) 追加信託差損益金	616,766
(G) 解約差損益金	△192,757,630
(H) 計(D+E+F+G)	401,826,875
次期繰越損益金(H)	401,826,875

*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

*損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

①デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年1月14日>

②有価証券の指図範囲に新投資口予約権証券を加える所要の約款変更を行いました。

<変更適用日：2015年8月3日>

換金の申込不可日について

販売会社の営業日であっても、下記の条件のいずれかに該当する日（申込不可日といいます。）には、換金の申込みはできません。

- 申込日当日が、イスラム暦およびアラブ諸国の休日等をもとに、換金の申込みの受付を行わないものとして委託者が指定する日の場合
イスラム暦に基づく休日は必ずしも予め日付が確定しておらず、委託者が指定する換金の申込不可日は直前に追加される可能性があります。
- 申込日当日が、金曜日の場合
- 申込日当日が、ロンドンの銀行の休業日と同日の場合

なお、委託者のホームページ等にて、委託者が知り得る直近の情報に基づいて指定した申込不可日をご案内しておりますのでご参照ください。